

## 女性日本人 全二回 12 巻



佐藤能丸監修 佐藤能丸・三宅桃子解題

揃定価 192,500 円(175,000 円+10%税)

A5 判／総約 7,950 頁／

婦人総合雑誌として、ナショナリスト三宅雪嶺の婦人花園の主唱で、大正 9 年 9 月に創刊、大正 12 年 9 月の終刊まで全 38 冊を政教社より刊行。

本誌の目玉は「主張及批判欄」で、時事問題に鋭い論評が展開され、寄稿者には、平塚らいてう・山田菊栄・山田わか・神近市子・奥むめお・中条百合子・吉屋信子らの女性陣、吉野作造・権田保之助・大山郁夫・佐野学ら錚々たる論客が多い。婦人参政権・男女平等・生活改革・恋愛と貞操など重要な問題を扱い、また大正後期の文学状況を知るには不可欠な資料。

第 1 回(1～5) 83,600 円(76,000 円+10%税)(分売不可)

ISBN :4-906330-74-6 JLA :92-039162～66 NPL :9256227

第 2 回(6～12) 108,900 円(99,000 円+10%税)(分売不可)

ISBN :4-906330-75-4 JLA :93-016031～37 NPL :9352462

推薦：榎本隆司「注目される文学的所産」

阿部恒久「若き知性がとらえた大正婦人運動の実相」